

Notion vs kintone / Excel / Drive / Slack

機能ではなくROIで比べる比較表です。月額費・構築費・改修費・情報探索時間・二重管理・現場定着・AI活用・監査権限の8軸で並べています。どれが優れているかではなく、どれをどこに置くかを決めるための表です。

この資料の数字について

掲載している金額・時間はすべて、前提条件を置いた**試算**です。導入実績にもとづく数値でも、特定企業の事例でもありません。金額換算の前提は「人件費 時給2,500円、稼働20日 / 月」で、この前提が自社と違う場合、結果は大きく変わります。

各ツールの費用感は
2026年8月時点の公開情報と一般的な相場にもとづく目安です。実際の費用は契約プラン・人数・オプションで変わります。

8つの軸で比べる

軸	Notion	kintone	Excel	Drive	チャット
月額費	ユーザー課金。単価は低め。閲覧だけの人をゲスト共有に逃がしやすい。	ユーザー課金。使う人も見るだけの人も同じ単価がかかる。	Microsoft 365 / Google Workspace に含まれることが多く、追加費用は出にくい。	ストレージ課金。容量が増えるまでは安い。	ユーザー課金。無料プランだと過去ログが見られなくなる。
構築費	テンプレートなら1~5万円。構築代行でも範囲を絞れば15万円前後から。	アプリ単位なら自社で作れる。業務全体の設計を外注すると数十万円規模。	ほぼゼロ。ただし作った人しか直せないファイルが生まれやすい。	ゼロ。フォルダ構成の設計をしないと後から効いてくる。	ゼロ。
改修費・改修待ち	現場の担当者が自分で直せる範囲が広い。ルールがないと崩れる。	JSカスタマイズを重ねると外注依存になり、リードタイムが数週間になる。	作成者に依存。退職すると誰も触れないファイルが残る。	該当なし。	該当なし。
情報探索時間	文章・データ・手順が同じ場所にあり、横断検索が効く。ここが最大の削減源。	アプリを選んではコードを探す2段階。手順書は別の場所にある。	ファイル名と置き場所を知っている人しかたどり着けない。	検索はできるが、どれが最新版かの判断がつかない。	過去ログを遡る作業が発生する。実質、探せない。
二重管理コスト	集約先として使える。ただし「正解の置き場所」を決めないと増やすだけになる。	入りきらない情報がExcelやドライブにあふれ、二重管理の起点になりやすい。	コピーが増える。どれが最新か分からなくなる代表格。	同じ資料の版が並ぶ。	決まったことが流れて消え、結局どこかに書き直される。
現場定着	見る用途から入れるので抵抗が少ない。設計しないと放置される。	入力項目が多いと「報告のための作業」になり、入力されなくなる。	慣れているので定着はする。ただし属人化する。	置くだけなら定着する。整理はされない。	最も定着する。ただし資産にならない。
AI活用しやすさ	マニュアル・議事録・FAQ・案件履歴が同居し、判断の背景が文章で残る。	データは構造化されているが、判断の背景がレコード外にあり文脈が足りない。	数値は読めるが、なぜその値かは分からない。	ファイル単位。横断的に読ませるには設計が要る。	断片的で、文脈の再構成が難しい。
監査・権限	ページ単位の権限。行単位の厳密な出し分けは苦手。	レコード単位・フィールド単位まで制御でき、操作ログも残る。	ファイル単位。実質、管理不能。	ファイル・フォルダ単位。	チャンネル単位。

ツール別の結論

いま使っているもの	残すもの	Notionに移すもの	ROIとしての要点
kintone	申請・承認フロー、レコード単位の権限管理、数千件以上の集計データ、監査ログが必要な業務	マニュアル、FAQ、案件の背景メモ、日報、社内ポータル、閲覧中心のメンバーが見る情報	閲覧中心のユーザーをNotion側に寄せると、ライセンス数そのものが減る。ここが最大の削減源。
Excel / スプレッドシート	複雑な計算式・マクロを使った集計、大量行のデータ処理、会計や請求の元データ	一覧・進捗管理・チェックリストとして使っているシート、手順を書いたシート	「どれが最新かわからない」が消えることによる時間削減。ライセンス費は下がらない。
Google Drive / 共有フォルダ	ファイル本体（PDF・画像・動画・契約書）の保管	Wordで書かれた手順書、議事録、社内ルール、FAQ	ファイルはDriveのまま、Notionからリンクで参照するのが最も安い。移すのは「文章」だけ。
Slack / Chatwork / LINE	流れてよい連絡、急ぎのやりとり、雑談	決まったこと、判断の理由、繰り返し聞かれる質問	チャットをやめる必要はない。「決まったことだけNotionに1行」の運用で、探す時間が消える。

この表の使い方

1. いま使っているツールの行を見て、「残すもの」に自社の業務が入っているか確認する
2. 入っていない業務だけを、Notion移行の検討対象にする
3. その業務の削減時間を saiquestion.com/notion-roi/tasks/ の業務別ROI辞典で試算する
4. ライセンス費・構築費を含めた回収期間を saiquestion.com/notion-roi/simulator/ で計算する